

都 々 逸

助けた猪口 貴方を下戸に
してはおかれぬ 色が出る

固く結んだ 手と手の中で
今度逢う日を 書いている

花に浮かれて 来る蝶々も
風が邪魔する 世の習い

しだれ桜で 手は届けても
主ある花なら 是非がない



数学の時間

何本かの苗木があり、円形の池の周りに植えるつもりです。

2メートルおきに植えると、5本足りません。3メートルおきに植えると、

4本余ります。苗木の本数と、池の周囲の長さを求めて下さい。

江戸のことわざ 【 駕籠に乗る人、駕籠担ぐ人、そのまた草鞋を作る人 】

世の中にはさまざまな身分、職業、境遇の人がいるということ。また、世の中はいろいろな人のつながりで成り立っているということ。

駕籠は乗る人の身分に応じて、上は将軍、大名の乗り物から、町人が乗る「町駕籠」や街道をいく「道中駕籠」があり、さまざまな駕籠が往来していた。

駕籠を担ぐ人を「陸尺」といい、これにも、武家奉公人から街道を行く者もいる。一方で臨時に雇われるパートの陸尺もいる。例えば、参勤交代の江戸市中行列の時だけなどである。

経済の時間 【 フローとストック 】

お金はフローとストックの両面でもとらえることができる。フローとは、「流れ、流量」の意味。

経済的には、一定期間に動く通過の流量を指す。これに対してストックとは、過去から蓄積された資本や財貨、蓄えなどを意味する。例えば国家の経済で言えば、GNP（国民総生産）や国民所得はフロー、国富、個人や法人の金融資産はストック。

勝弦峠の戦い 【武田信玄：小笠原長時 1584年】

上田原の戦いで、村上義清が武田信玄を破ったことを知り小笠原長時は、義清、仁科氏と連合し、諏訪下社を占拠した。

武田信玄は軍容を整え甲府を出発し、諏訪に進み、上原城に入った。

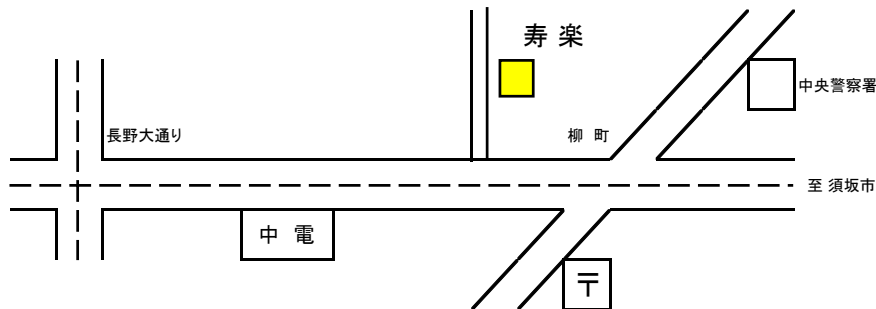
長時は五千の兵を率いて勝弦峠まで兵を進めていた。信玄は、ひそかに全軍の移動を命じ勝弦峠に登らせていた。小笠原勢の寝込みを襲ったのである。不意をつかれた小笠原勢は軍装準備の暇もなく敗れ去った。信濃支配をめぐる力関係が大きく変わった戦いであった。

サラリーマン川柳

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 妻の言う 何とかなるよに 励まされ | 6 借金の 仕方を国が 教えてる |
| 2 忙しい ふりするだけで 忙しい | 7 今の世は 地震・雷 家事は父 |
| 3 連れ込むな 私は急に 泊られない | 8 役に立つ 残しておいたら ごみになる |
| 4 おーいお茶 かえった返事は 私にも | 9 合併につぐ合併で 元は何 |
| 5 重要な 仕事は全て アルバイト | 10 習うより 慣れたら二つ 前の機種 |

おいしい“焼そば”のお店

【長野市編】



江戸そばなし 【先約】

好いて好かれて一緒になった七右衛門に死なれて悲しんでいる女房を、七右衛門の友だちが慰めに行くと、「あたしほど果報な女はいやしないと、喜んだのもほんのつかの間。こんな若さで取り残されて、あたしやあの人の方がうらめしい。これから先、一体誰f

と、泣きながら愚痴るので、七右衛門の友だち、そばに寄り、女房の肩をやさしく抱き寄せて、「そんなら、俺が頼りになろう。俺を七と思って頼ってくれ。今日から一緒になろう」と迫ると、

女房泣きながらニコリ笑い、

「お前様の気持ちは嬉しいが、あたしには、あの人が患っている時からの先約がござんす」

数学の時間答え 5号答え 1) 14 2) 22 3) 255 4) 15 5) 34
6号答え 90